

4. 性的被害

表14に示すように、性的被害の相談件数は、強姦96件（新規37件、継続59件）、強制わいせつ68件（新規22件、継続46件）、不明12件（新規のみ）、強姦致傷1件（新規）、その他34件（新規14件、継続20件）で、合計211件であった。

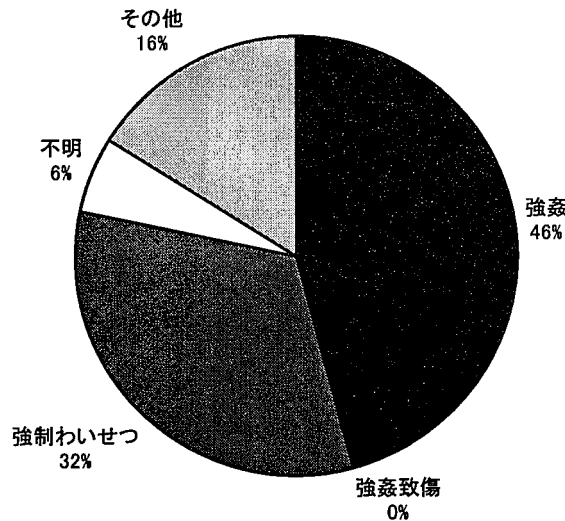
全211件に対する、各被害罪種の占める割合は、図11に示す通りである（図11）。

表14.

性的被害の被害類型

強姦	96件
強姦致傷	1件
強制わいせつ	68件
不明	12件
その他	34件
合計	211件

図11. 性的被害の被害項目

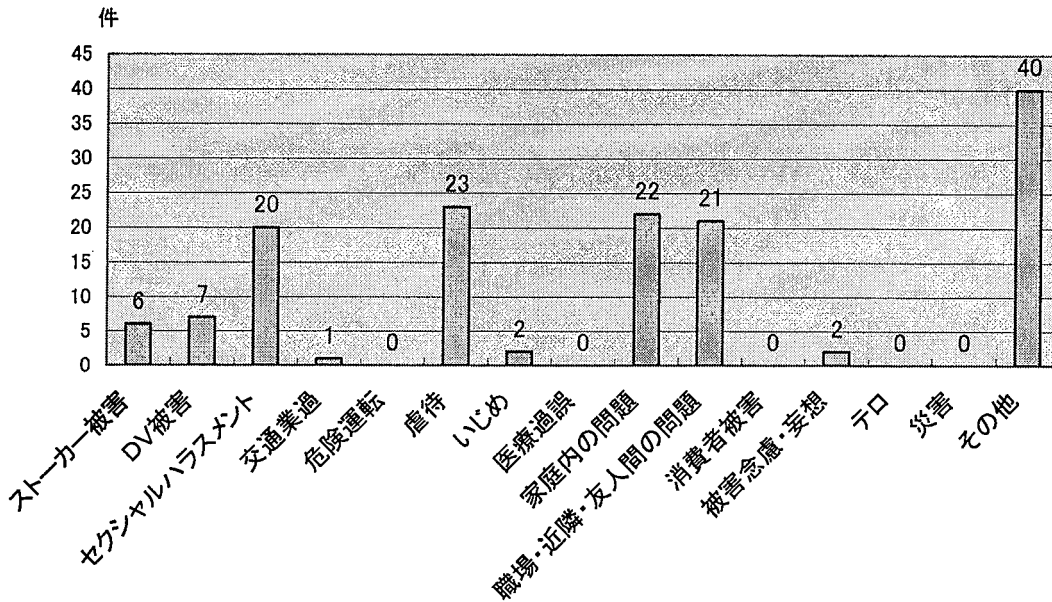


性的被害の被害態様を見ると、表15に示すとおりである。虐待23件、家庭内の問題22件、職場・近隣・友人間の問題21件、セクシャルハラスメント20件と、身近な者達による被害が多いことが窺えるが、その他が40件となっている（図12参照）。

表15. 性的被害の被害態様

	被害態様														総計	
	ストーカー被害	DV被害	セクシャルハラスメント	交通業過	危険運転	虐待	いじめ	医療過誤	家庭内の問題	職場・近隣・友人間	消費者被害	被害念慮・妄想	テロ被害	災害被害		その他
身体被害																
強姦	6	3	7	1	0	3	2	0	12	14	0	0	0	0	18	66
強姦致傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
強制猥褻	0	2	9	0	0	11	0	0	6	6	0	1	0	0	7	42
不明	0	0	3	0	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	5	12
その他	0	2	1	0	0	7	0	0	3	0	0	1	0	0	9	23
合計	6	7	20	1	0	23	2	0	22	21	0	2	0	0	40	144

図12. 性的被害と被害態様



強姦の継続相談では、この2ヶ月間に同一のケースで7回電話を受けているものが1例、5回が3例、3回が3例、2回が7例みられた。継続相談の相談主旨は心理的48件、法律2件、その他の相談5件、問い合わせ5件、その他2件。新規相談では心理的相談24

件、法律相談6件、その他の相談5件、問い合わせ6件、その他0件であった。

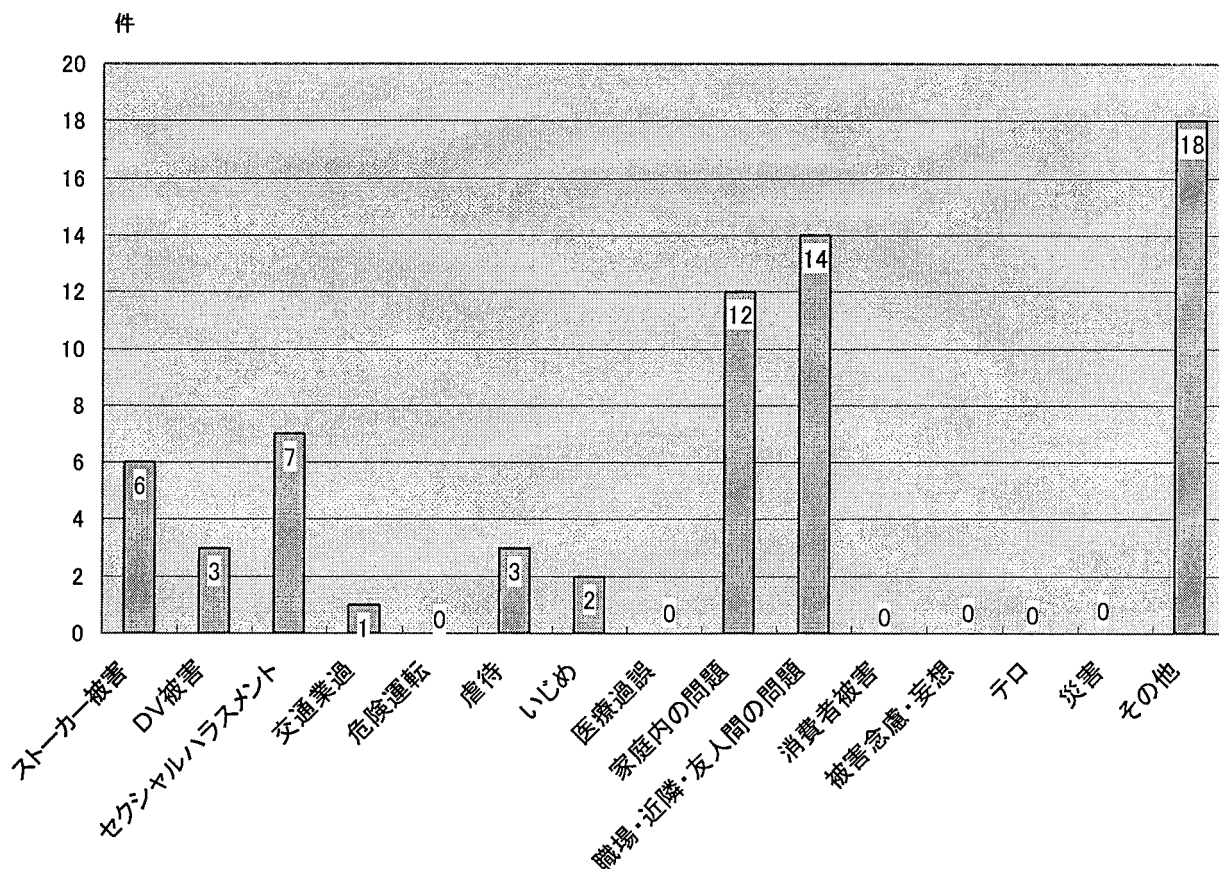
強制わいせつに関しては新規相談22件のうち心理的相談12件、法律的相談10件、その他の相談1件、問い合わせ0件、その他1件、継続相談では心理41件、法律10件、その他の相談5件、問い合わせ2件、その他0件であった。

「その他」の34件中、8件は名誉毀損・侮辱を含み、6件は「精神的な被害のその他」を含んでいる。また、「その他」全体の被害態様をみると、虐待7件、家庭内の問題3件、DV被害2件、セクシャルハラスメント1件、被害念慮・被害妄想1件となっている。

性的被害のうち最も多い強姦について、被害態様を見ると、職場・近隣・友人間の問題14件、家庭内の問題が12件あり、ついで、セクシャルハラスメント7件、ストーカー被害6件であった(図13参照)。

強制わいせつの場合に被害態様を見ると、虐待が11件で、最も多かった。

図13. 強姦被害とその被害態様

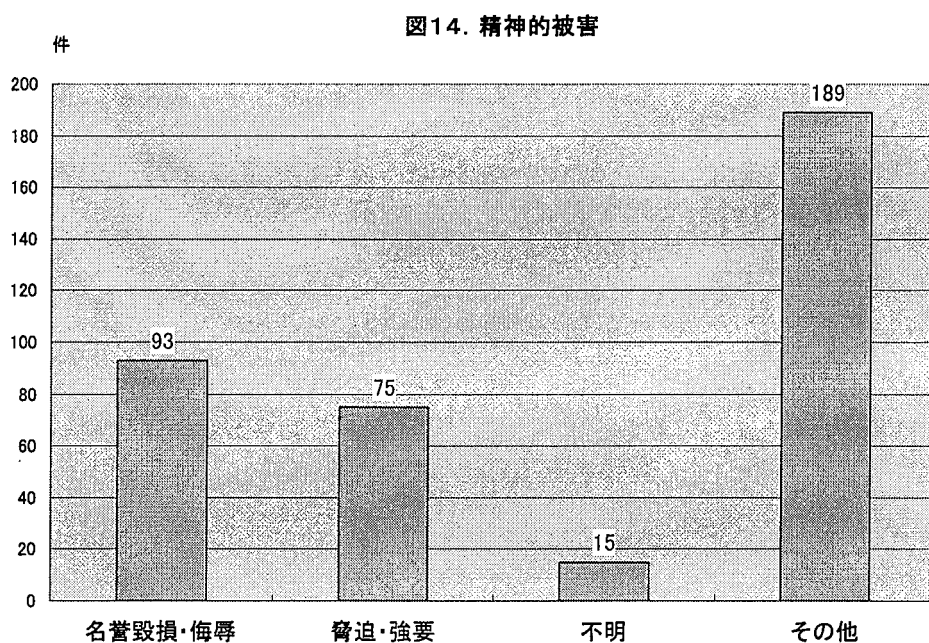


5. 精神的被害

表16に示すように、精神的被害では名誉毀損・侮辱が93件(新規35件、継続58件)、脅迫・強要75件(新規44件、継続31件)不明15件(新規12件、継続3件)、その他189件(新規117件、継続72件)で合計372件であった(図14参照)。

表16. 精神的被害

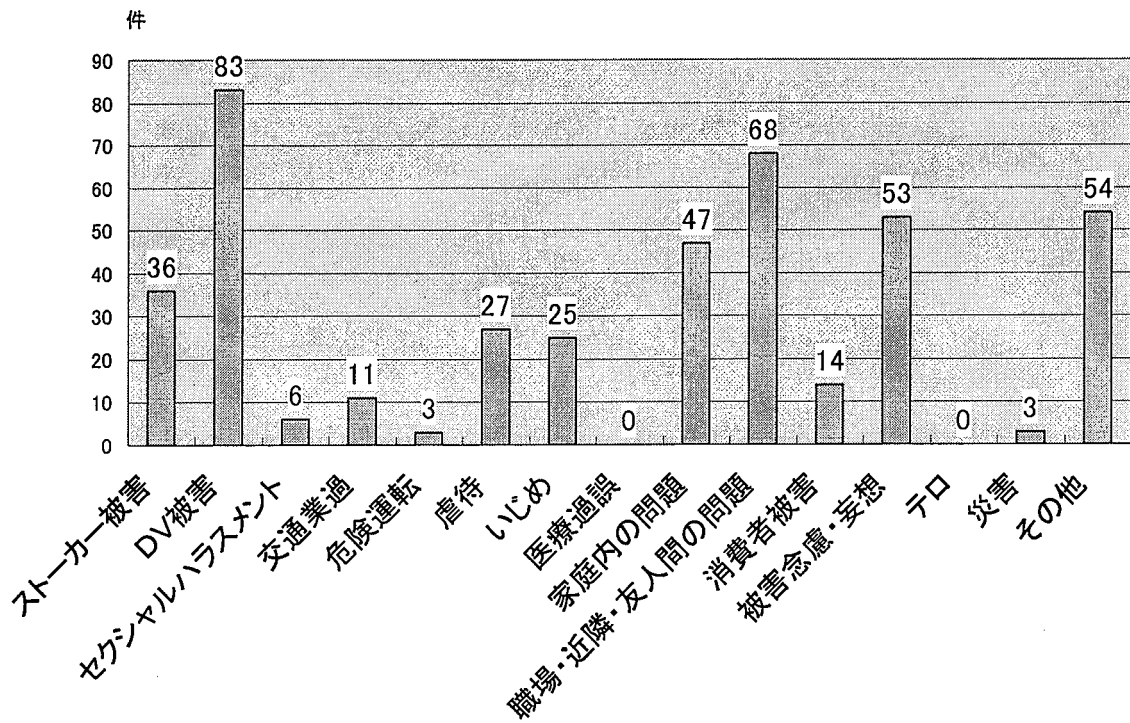
名誉毀損・侮辱	93件
脅迫・強要	75件
不明	15件
その他	189件
合計	372件



精神的被害における被害態様の特徴を見ると、DV被害によるものが83件と多く、次いで職場・近隣・友人間の問題が68件、家庭内の問題47件、ストーカー被害36件であった(図15参照)。

名誉毀損・侮辱のうち、被害念慮・妄想とされながら継続しているものが9件見られた。後に触れるが、精神的被害全体で、「被害念慮・妄想」にも同時にチェックされていたものが53件認められた。

図15. 精神的被害とその態様



6. その他

「災害被害」が4件あり、「その他の被害（これまでに挙げたどのカテゴリーにも入らないが、被害とみられるもの）」が193件認められた。

また、被害とは直接関係のない単なる問い合わせ等の電話である「その他」が、222件あった。